






アプリを活用した食品ロス削減プロジェクト、都市圏と産地をつなぐ「tabeloop（たべーぽ）マルシェ」の実施		取組開始時期	2019年9月	取組の カテゴリ	地域活性化
--	--	---------------	---------	---------------------------	-------

1. 団体名	バリュードライバーズ株式会社	2. 連携先の団体	三重県伊勢農林水産事務所・南伊勢町（みなみいせ商会）、JA全農、三井不動産レジデンシャル、三井不動産レジデンシャルサービス
---------------	----------------	------------------	---

3. 取組目的	このままでは産地で廃棄されてしまう野菜果物、海産物などと都市マンション居住者をマッチングすることによる食品ロス削減、食育を通じたコミュニティ機会の創出	4. 関連するゴール	    
----------------	---	-------------------	---

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

**マンション居住者用アプリで購入需要を把握
食品ロスとなり得る野菜・果物・海産物等をWEB販売/出張販売**

>>>WEB販売の流れ<<<



三井不動産レジデンシャルの**マンション居住者向けアプリ**を通じて、産地ロス危機の実情を発信するとともに、規格外や在庫過剰、賞味期限が近い等の理由により、このままでは産地で廃棄されてしまう野菜果物、海産物などを、専用のWEBページからECプラットフォームに遷移して購入してもらう**WEB販売**や、マンション居住者向けアプリ上で予約販売・告知・申し込みを行いマンション共用スペースで**出張販売**する食品ロス削減プロジェクト「tabeloopマルシェ」を実施。

>>>マンション共用部で実施した出張販売の様子<<<



参加者や購入者からは「**食品ロス課題について考える非常に良い機会となった**」という声もいただき、消費者である都心居住者の食育や集合住宅でのコミュニティ醸成にも好影響を与えている。

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

産地・生産者と消費者を直接繋ぐことで、生産者の収益を確保するとともに、消費者に生産者の想いや日本の一次生産品の良さ、食品ロスの現状を知ってもらう機会を創出し、食品ロス・産地ロスの削減および食品ロス削減に関する普及啓発および教育を行う。

ステークホルダーとの連携

ECプラットフォームを運営する弊社および、農業生産者支援に取り組むJA全農、都心大規模物件のマンションのリソースを有する三井不動産レジデンシャルと連携することで、タイムリーに全国の食品ロス品を提供可能にし、居住者専用アプリを活用することでスピーディーな顧客コミュニケーションを実現している。

モデル性・波及性

都心大規模マンションのリソースと居住者専用アプリを活用した購入需要の把握と、産地側に商品を集約することで、さらなる食品ロス発生の防止、共同購買による配送コスト引き下げを実現した流通スキームの組み合わせは、その他サービスでも応用が可能な、生産者と消費者の双方にメリットのある仕組みであり、今後のさらなるサービス拡充を検討している。

自由記述欄



「tabeloopマルシェ」は三井不動産レジデンシャル・JA全農・地方自治体等と連携し、産地で発生するロスになり得る食品を**東京都内の分譲マンションで販売する都市型マルシェ**です。都心大規模マンションのリソースと居住者専用アプリを活用することで購入需要を把握し、自治体の協力を得て産地側に商品を集約することで、**さらなる食品ロス発生の防止、共同購買による配送コストの引き下げを実現**しています。こうした効率的な需要の把握と流通スキームの組み合わせは、生産者と消費者の双方にメリットのある仕組みであり、2019年9月の取り組み開始後、これまでに港区、中央区、品川区、江東区のマンションで開催しています。

また2020年10月には、三井不動産レジデンシャルのマンション居住者向けアプリ・メンバーシップサービスを通じて、三重県南伊勢町における養殖真鯛11万尾が産地ロスの危機に直面している実情を発信し、専用のWEBページを制作してECプラットフォーム上で購入できる導線を作るなど、**地域の実情に応じた食品ロス、産地ロス削減の取り組みを実施**しています。

私たちは

- ・ **2030年までに食品ロスを半減すること**
- ・ **2030年までに貧困層における飢餓を撲滅すること**

をミッションとしています。フードシェアリングのコンセプトを通じてまだ食べられるのに廃棄されてしまう食品を必要としている方々の手に渡るよう、今後も外部の様々な企業・地方自治体等と連携してプロジェクトを実現していきます。

【取り組み紹介】
食品ロスの削減を目指した生産者と消費者をつなぐECプラットフォーム「tabeloop」
<https://tabeloop.me/>

産地ロス品を中心とした野菜、果物、海産物などを産地直送にて販売「産直tabeloop」
<https://sanchoku.tabeloop.me/>

南伊勢町の養殖真鯛を救うプロジェクトPR動画
<https://youtu.be/Qf0UsSPy2kM>



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。